

# 「夢の田舎暮らし／自然との共生」

(スローライフのはずが・・・)

向井 幸治さん

皆さんこんにちは！ S47年度入社の向井幸治です。

阿蘇に移住してもう5年になりました。都会でのマンション暮らしをしてきた田舎育ちの私は山、川、土、草、木など自然に飢えていました。終の棲家は自然豊かな田舎でのんびり暮らしたいと考えていました。55歳の頃から定年後のことを考えはじめて、都内にあるアンテナショップで移住の相談をしたり、各地方の移住セミナーに参加して情報を入手したり、休みを利用して各地の移住候補地を見て回り、最終的にたどり着いたところが阿蘇の山中でした。実家にも近くて、自然が身近にあり静かで気候も夏は涼しく私には最高に魅力的な場所でした。

移住に関して一つ問題がありました。それは妻のことで、あまり乗り気ではありませんでした。交通至便、買い物至便、すきなライブやコンサートはいつでも観られて、狭いマンションや騒音など気にもせず、活気にあふれた都会暮らしを満喫していました。かたや私の頭の中は田舎暮らしのことでいっぱい、あれしようこれしようと思いをはせて、残りの人生はバラ色の未来と夢見ていました。

半ば強引に私のわがままを通すことになり、2015年3月に引っ越しました。後々に尾を引かなければ良いかと申し訳ない気もしました。妻にしてみれば、都会とのギャップが大き過ぎて環境の変化は一大事でしたが、日が経つにつれ、友達もふえて行動範囲もひろがり、ヨガ教室や陶芸教室に夢中になって楽しんでます。

横浜を後にする前に、妻とともに工場夜景を観賞しました。外から観る製油所の夜景は幻想的でとてもきれいでしたが、そこで長年働いていた者としては大変なんだよな～と違った思いで眺めていました。そして横浜最後の夜は通勤で下から眺めていたロイヤルパークホテルに宿泊して横浜を後にしました。

住みはじめてすぐに、阿蘇中岳の噴火で降灰被害に悩まされました。特に2016年10月4日の爆発的な噴火では火口から直線距離にして4kmしか離れていなく、風下だった為40～50mmもの大きい噴石も飛んできました。スレート屋根が割れたのと、車は樹林とカーポートで難をのがれましたが、ご近所の車はフロントガラスにヒビが入りルーフやボンネットの部分はボコボコになっていました。深夜の寝静まった時間帯の出来事だったので被害は少なかったのかもしれませんが。

朝起きて外に出てみたら灰色の世界でした。

現役の時にFLGのサイロの上やその周辺がコークスだらけになり総動員で清掃作業した事がありました。コークスと火山灰の違いはありますが全く同じような光景でした。片付けのことを考えると途方にくれてしまいました。とりわけ雨樋はギッシリ詰まり取り除くのにかなりの時間を要し、高所作業の為、安全確保には十分注意



火山灰を被った車



飛んできた40～50mmの噴石

して行いました。ネコ車にツナギ、スコップ、マスクに保護メガネは必須で屋根、庭、側溝など少しずつ片付けて一か月近くかかりました。昔の経験が少しはいかされたかな？

現在の阿蘇中岳は噴火警戒レベル 1 まで引き下げられて火口の見学も可能になっています。

災難は噴火だけではありませんでした。翌年には熊本地震で二度の大きな揺れを経験して 3~4 日間の電気なし風呂なしの生活と、鉄道と幹線道路が通行できなくなり不便な生活を強いられる羽目になりました。我が家は幸いにも被害はありませんでしたが、家の中は食器や本、衣類など足の踏み場もないぐらい散乱していました。人生で一番の揺れでした。（ちなみに R-4501 は 10 番目ぐらいかな、笑）

余震のことも考えて徒歩 10 分ぐらいの避難場所へ暗闇の中をご近所さんと向かいましたが、人が多くて引き返し自宅で静かに耐え過ぎました。住宅メーカーは震度 7 にも耐えられる家と説明を受けていたので自宅が安全と考えました。

一週間分の非常食は備えていたので食べ物は困りませんでした。しかし親戚や友人などから心配して連絡を頂いたのですが、携帯電話のバッテリーが切れて音信不通状態になってしまいました。

しばらくすると支援物資の配給もあり大変助かりました。お風呂は近くの温泉宿が無料開放していたので一回利用してみましたが、大変な混雑で、いわゆる芋洗い状態で背後に気配を感じながらゴシゴシ洗い、さっさと引き上げ、それっきりにしました。鈍感な気質の私でも脱衣室の濡れや髪の毛など少し気になりました。非常時はこんなもんかな、無料開放してくれるだけでも有難いと貴重な体験をしました。

今年の 8 月には鉄道が、10 月には 4 年半ぶりにヤット断されていた国道 57 号線が開通して峠越えしなくてもいいようになりました。土曜日、日曜日などは Go To キャンペーンの旅行客も増えて草千里や大観峰、黒川温泉などの観光地は賑わっています。阿蘇神社の被害を受けた楼門（日本三大楼門の一つです）や拝殿は現在修復中ですが、お参りはできるので駐車場が満杯の時もあります。

野生動物も多くて庭には、シカ、イノシシ、タヌキ、サル、ウサギなどがよくあらわれます。とくにウリ坊なんかは、めちゃくちゃかわいいなと思っていましたが、家庭菜園や庭木などが被害によくあいました。それなりにシッカリした対策をしないと野生動物は賢いですから大変です。防護柵を作っても穴を掘ったり柵を壊したりして侵入してきます。

見栄えのいい庭木を駐車場の周りに地元の造園屋さんに頼んで植えていたのですが見事に枝だけになっていました。シカの好物だったみたいです。後で思ったことですが、造園屋さんもそのへんの事（シカの好物）をアドバイスしてくれない

のかな〜と不満を抱きました。動物たちとは今後も付き合っていかなければなりません。犬がワンワン吠えて知らせてくれるようになったので少しは頼りになります。

犬を飼いはじめて 2 年になります。ボーダーコリー犬で女の子です。ドッグトレーナーに通りの訓練や、しつけと色々なアドバイスを伺いました。朝は早起きでいつも顔をいやというほどペロペロなめて起こされます。うれしいけどありがた迷惑。ボーダーコリーは運動量が多いので毎日の散歩が大変です。



時々現れるシカ達



最近の阿蘇中岳

趣味小屋を建てました。茅葺で中には囲炉裏をつくってご近所さんやアルバイトの仲間、親戚などがよく訪れてお茶会やバーベキューなどをしています。ひとりの時は昼寝をしたり、餅を焼いて食べたり、阿蘇の名水でコーヒーを沸かして飲んだり、音楽を聴いたりして、楽しんでいます。



ボーダーコリー犬のマルコです



茅葺き小屋を建てました

住みはじめてしばらくすると、同期のAさんや先輩のTさんも旅の途中に我が家に立ち寄ってくれました。後輩のKさんとSさんは一泊して帰りました。KさんとSさんはまた来ますと言っていたけど、その後、音沙汰なし！きっといろいろ忙しいんだろうな～。

阿蘇へ旅される際は、気兼ねなくお立ち寄りください。小屋は3～4人は寝泊りすることができますので歓迎いたします。